

中学校

東京・多摩市立聖ヶ丘中学校①

新学習指導要領

実践ファイル

〔13〕

特別の教科 道徳

「特別の教科 道徳」について本校では、SDGsを踏まえ、より多くの生徒の意見を引き出し、生徒が互いの意見から学び合い、「主体的・対話的で深い学び」の視点を大切にする授業の実践に力を入れている。今回は、その工夫点を紹介する。

昨年度の1年生に実施した道徳科に関するアンケート（対象88人）によると、以下の回答が得られた。

Q 中学校に入学してから道徳科の授業を「好き、ためになる」と感じたか。

A はい（49人）、どちらかと



いうとはい（34人）、どちらか徒が多かったのだが、中学校入後、学後にさらに増えている。

え（2人）、無回答（2人）

肯定的な回答をした理由に、結果から、「はい」「どちらか」といふと「はい」を合わせると、約94%の生徒が「好き、ためになる」と感じていることが分かった。実は、元々小学校の頃から道徳科の授業が好きという生徒（70人）

生徒が多かったのだが、中学校入後、学後にさらに増えている。

肯定的な回答をした理由に、結果から、「はい」「どちらか」といふと「はい」を合わせると、約94%の生徒が「好き、ためになる」と感じていることが分かった。実は、元々小学校の頃から道徳科の授業が好きという生徒（70人）

ICTなど活用、多くの意見引き出す

〇生きていく上で大切なことについて考えたり、学んだりできる。（66人）

〇クラスメートの意見から学んだり、考えたりすることができ。（64人）

この結果から、新学習指導要領が目指している授業を実践することが、生徒にとっても道徳科の授業が好き、ためになると学習内容がSDGsの17の目標に関連していることを授業中に明示している

（三浦摩利指導教諭）